

ISO TC154 総会報告

会議形式：ハイブリッド

オープニングセッション：10月13日

WG 報告&リエゾン報告：10月14日

クロージングセッション：10月14日

TC154 Chair：Yu Shi (China)

TC154 Committee Manager：Jianfang Zhang (China)

ISO Technical Program Manager：Laura Mathew

2022年のISO TC154総会は、欧州国連本部（ジュネーブ）での対面形式とWebexによるオンライン形式のハイブリッドで開催された。

日本からは、TC154国内審議会でWG1（EDIFACT）及びWG7（Digital Business）担当の菅又久直（Head of Delegation）とWG6（Trusted eCommunication）担当の佐藤 雅史氏がオンラインで参加した。

会議はTC154議長のMr. Yu Shiの采配のもとに進行された。

I. ISO/IEC Directive Update

ISO事務局 Technical Program ManagerのMs. Laura Mathewより、ISO/IEC Directive（指令）の変更点などの説明がおこなわれた（ISO/TC 154 N 1349）。

- ・ 複数回 CD（Committee Draft）投票を軽減するため、コメントを求めるための CD Consultation 制度が導入された。
- ・ Advisor Group 及び Ad hoc Group の設置は TC（Technical Committee）で決議することができる。
- ・ TR（Technical Report）についての NP（New Project）投票は不要で、総会の決議（Resolution）によりプロジェクトを発足できる。
- ・ PAS（Public Available Specification）及び TS（Technical Specification）の審議において重要な変更（Title や Scope など）がある場合は賛成 3分の 2 ルールによる決議（Resolution）を必要とする。
- ・ 2 度目の DIS（Draft International Standard）投票を可能とする。
- ・ TC（Technical Committee）会議の開催案内は 8 週間前までに行う。
- ・ WG（Working Group）会議の開催案内は 4 週間前までに行う。
- ・ ISO/IEC が進める SMART（Standard Machine Applicable Readable and Transferable）プロジェクトの紹介が行われた。

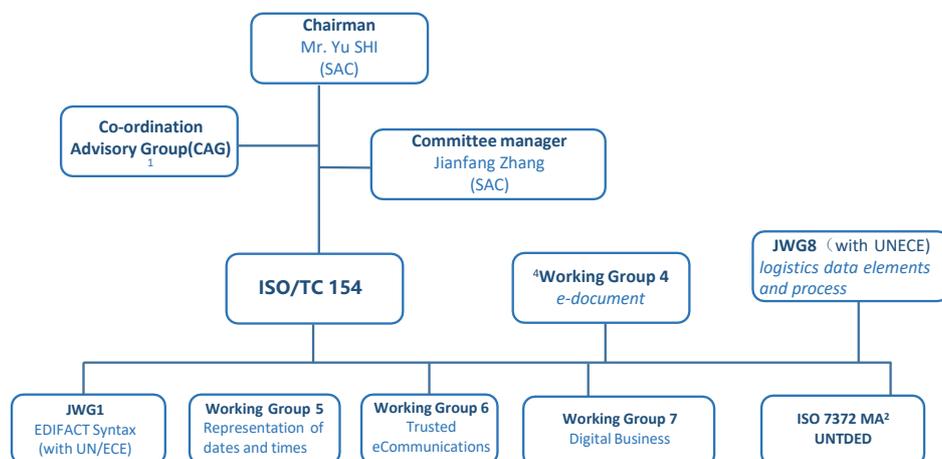
- ・ 2030年までにターゲットとする標準化領域は次の通り。
 - ◇ 気候変動対応ソリューション
 - ◇ 弾力性のある食料供給システム
 - ◇ デジタル化の支援
 - ◇ 国際標準に対する見方
 - ◇ 水資源の希少性を解決するイノベーション

II. Committee Manager Report

TC154 事務局 Committee Manager の Mr. Jianfang Zhang より、TC154 の体制、活動及び課題につき発表が行われた

➤ TC154 の体制：

- ・ P (Participating) メンバー：17 (日本は P メンバー)
- ・ O (Observing) メンバー：27
- ・ 内部リエゾン：16 委員会
- ・ 外部リエゾン：21 団体 (AFACT は外部リエゾン)



TC154 体制図

- ・ WG 委員長 (Convenor)
 - WG1: Anders Grangard
 - WG4: Ronald Tse & Jamie Clark
 - WG5: Ronald Tse
 - WG6: Jasmine Jang
 - WG7: Jim Wilson
 - WG8: Dapeng Liu
 - CAG: Shi Yue

- 2022年の標準化進捗状況
 - ・ 標準の公開
 - ◇ ISO 9735-10:2022 Application level syntax rules Part 10: Syntax service directories
 - ◇ ISO 9735-11:2022 Application level syntax rules Part 11: Version 3 compatible profile for Version 4 of ISO 9735
 - ◇ ISO 14533-1:2022 Long term signature profiles — Part 1: Long term signature profiles for CMS Advanced Electronic Signatures (CADES)
 - ・ 開発中の標準
 - ◇ ISO/DIS 5054-1 Specification for an Enterprise Canonical Model — Part 1: Architecture
 - ◇ ISO/WD 5909 Data interchange processes of blockchain based negotiable maritime bill of lading related to e-Commerce platform
 - ◇ ISO 8601-1:2019/FDAmD1 Date and time — Representations for information interchange — Part 1: Basic rules
 - ◇ ISO/DIS 15000-3 Electronic business eXtensible Markup Language (ebXML) — Part 3: Registry information model specification (ebRIM)
 - ◇ ISO/DTR 16340 Application of blockchain-based traceability platform for cold chain food
 - ◇ ISO/AWI TR 19626-3 Trusted communication platforms for electronic documents — Part 3: Blockchain-based implementation guideline
 - ◇ ISO/DIS 23355 Visibility data interchange between logistics information service providers
 - ◇ ISO/DIS 34000 Date and time — Concepts and vocabulary
 - ・ 提案中の標準
 - ◇ ISO/PWI 34100 Date and time – Reference time scales
 - ◇ ISO/PWI 34500 Date and time — Temporal reference model
 - ◇ ISO/PWI 16356 Data and process of edible agricultural products based on blockchain and DLT application
 - ◇ ISO/PWI 16320-1 Documents and processes in e-commerce – Smart contract-based B2B electronic transaction execution and verification – Part 1: Reference model
 - ◇ ISO/PWI 8601-3 Date and time — Representations for information interchange — Part 3: Semantic representation
 - ◇ ISO/PWI 36200 Standardization documents -- Metadata
 - ◇ ISO/PWI 4555 Specification for e-Commerce development index data model

- SMART パイロットプロジェクト
ISO/AWI TR 19626-3 が ISO/IEC のオンライン標準開発 (OSD: Online Standards Development) のパイロットプロジェクトとして進められている。

III. Working Group Report

各 WG (作業グループ) の委員長 (Convenor) より、WG の活動報告が行われた。

1 JWG1: Joint Syntax Working Group

JWG1 は UNECE との合同 WG で、EDIFACT シンタックスのメンテナンスを担当。

- 2022 年に ISO9735-10 (EDIFACT サービスコード) 及び ISO9735-11 (EDIFACT V4 に V3 との互換性を追加) プロジェクトは IS を公開して完了した。
- 現在活動中のプロジェクトはなく、EDIFACT V4 の導入ガイド作成プロジェクトを始めるか否か検討中。当導入ガイドのニーズがはっきりせず、プロジェクト開始の決議は提案しなかった。

2 WG4: Standardized Document

WG4 は UN Layout Key などの文書標準、及びその電子版を担当。

- 当 WG で唯一のプロジェクト：電子文書のメタモデル標準 (WG36100) の作業は中断しており、スケジュール遅延理由で自動的にプロジェクトはキャンセルとなった。
- WG4 のプロジェクトが存在しなくなったため、WG 解散が TC 決議 (リゾリューション) において審議され可決された。

3 WG5: Date and Time

WG5 は日付及び時刻の表記の標準化を担当。

- 日付及び時刻の表記標準 ISO8601 Amendment は主に編集上のエラーを修正するもので、本年 10 月 4 日に投票は完了している。
- 具体的な日時定義は ISO 8601 で規定されているが、それを補足するコンセプトと用語の整備を進めている (ISO34000 シリーズ)。
- ISO34000 シリーズには、次のものが検討されている。
 - ・ ISO34000 Concept and vocabulary : 開発中
 - ・ ISO34100 Reference Timescales : 提案中
 - ・ ISO34200 Time zone
 - ・ ISO34300 Calendar System (和暦、イスラム歴、仏教歴などの定義)

4 WG6: Trusted e-Communication

WG6 は電子取引における電子コミュニケーションの信頼性に関わる標準化を担当。

TC154 総会では、WG6 の委員長 (Convenor: Jasmine Jang) はブロックチェーン・プロジェクト (TR 19626) の状況についてのみ発表を行った。

- ISO 14533-1 Part.1 : CAdES (*CMS Advanced Electronic Signatures*) 高度電子署名

に対応するために行った [CMS\(暗号メッセージ構文\)](#)形式の[デジタル署名](#)の改訂版は公開された。

- 電子文書のコミュニケーション・プラットフォームとしてブロックチェーンを使用するためのガイドライン (TR 19626 Trusted Communication Platform for e-Document Part3: Blockchain based implementation guide (Blockchain)) プロジェクトについて、ブロックチェーン全般を担当する ISO TC307 との JWG (Joint Working Group) 設置の提案が行われた。
- JWG が設置されたら TR19626 は WG6 から JWG に移管し、WG6 は一時的に閉鎖するとの提案が含まれている。
- JWG 設置提案は TC 決議 (リゾリューション) の審議で否決され、TC307 との協業の仕方を検討するアドホック・グループを設置することが決議された。

5 WG7: Digital Business

WG7 は電子ビジネスにおける相互運用性確保のための標準化を担当。

- 電子ビジネスのための企業モデル (ISO 5054 Enterprise Canonical Model)
 - ・ ISO 5054-1 (Architecture) は DIS 投票が終了し、公開のため Visio ファイルを PPT に変換し CS (Central Secretariat) に提出済み。
 - ・ Part 2: Application of ISO 15000-5 (New Project 提案予定)
 - ・ Part 3: Document content (OAGi より Fast-Track 提案の予定)
 - ・ Part 4: Platform content (OAGi より Fast-Track 提案の予定)
 - ・ Part 5: XSD representation (OAGi より Fast-Track 提案の予定)
 - ・ Part 6: JSON schema representation (OAGi より Fast-Track 提案の予定)
- ebXML レジストリ・リポジトリ (ISO 15000-3 Registry and Repository) プロジェクトは DIS 投票が終了し、コメント対応の編集中。
- Blockchain ベースのスマートコントラクト・プロジェクト (ISO/PWI 16320-1 : Smart contract-based B2B electronic transaction execution and verification – part 1: reference model) は、TC307 リエゾンにレビューを依頼中。レビュー完了後に NP (New Project) 投票にかける予定。
- Blockchain ベースの platform for cold chain food (ISO/AWI TR 16340) は、WD の準備中。
- カーボン・データ交換のための新しいプロジェクト (Carbon data interoperability) が中国により提案準備中。この標準は、パート 1 のフレームワークから始まる複数パートの標準となり、脱炭素化 (Carbon Neutral) 活動のためのカーボン・データ交換の標準化を目指している。
- 中国提案の製品品質データ交換のガイドライン・プロジェクト (Guidelines on risk-based product quality data interchange in E-commerce) が提案され、TR (Technical Report) として PWI (New Work Item) に登録するよう要請がなされた。

- 中国より工業データ交換における Blockchain 導入ガイド・プロジェクト (Technical requirements for blockchain implementation in industrial internet) が提案され、TR (Technical Report) として PWI (New Work Item) に登録するよう要請がなされた。このプロジェクトを遂行するためには TC307 及び TC184 との情報交換が必要となる。
- 中国より貿易デジタルの用語／コンセプトの整理統合を行うプロジェクト (Digital trade - Basic concepts and key initiatives) が提案され、TR (Technical Report) として PWI (New Work Item) に登録するよう要請がなされた。

6 JWG8: Logistics Data Contents and Process

JWG8 は UNECE との JWG (Joint Working Group) で、物流データとプロセスの標準化を担当。

しかしながら、UNECE より適切な合同作業の運営がなされていないとのクレームがあり、TC154 と UNECE の度重なる意見交換の末、2022 年 8 月に UNECE は当 JWG から撤退し、JWG は解散となった。解散時点で、JWG8 のもとで進められていたプロジェクトは以下の通り。

- ・ 物流情報サービスプロバイダー間のデータ交換標準 (ISO 23355 Data Exchange between Logistic Information Service Provider)
- ・ ブロックチェーンによる電子 B/L (船荷証券) の実装標準 (ISO 5909 Data interchange processes of blockchain based negotiable maritime bill of lading related to e-Commerce platform)。

今後の UNECE との JWG の在り方、及び現状推進中のプロジェクトの扱いにつき、次の 3 方式を中心に議論が行われた。

- ・ TC154 と UNECE は合同作業についての付帯条項 (Terms of Reference) を合意した上で、JWG1 と JWG8 を統合した JWG を設置し、現状のプロジェクトを継続する。
- ・ TC154 と UNECE は合同作業についての付帯条項 (Terms of Reference) を合意した上で、JWG8 を再開する。
- ・ 現行 JWG8 を解散し、TC154 内に新たな WG を設立し、JWG8 プロジェクトを継続する。

IV. Liaison Report

議長より TC154 に提出された次のリエゾンの報告が紹介されたが、時間の関係で内容の説明は行われなかった。

TC46/SC11: Archives/Records management

PC317: Consumer protection: privacy by design for consumer goods and services

JTC1/SC31: Automatic Identification and data capture techniques

TC204: Intelligent transport systems
TC104: Freight containers
TC211: Geographic information/Geomatics
TC184: Automation systems and integration
TC307: Blockchain and distributed ledger technologies
TC321: Transaction assurance in E-commerce
UNECE: The United Nations Economic Commission for Europe

V. Resolution

編集チームより Resolution (決議) 案が提出され、審議の上、添付の決議が採択された。
主な審議事項は次の通り。

- WG4 (Standardized Document) の解散
- TC307 との JWG (合同作業グループ) 設置提案→準備のためのアドホック設置
- JWG8 (Logistics Data Contents and Process) の解散
- UNECE からの Buy-Ship-Pay 参照モデル (Reference Data Model) の Fast Track 提案が提出される予定

VI. Next plenary meeting

ISO TC154 の次回総会は、2023 年 10 月最終週に、Calconnect (The Calendaring and Scheduling Consortium) の主催により、米国カリフォルニアまたは中国香港にてハイブリッド形式で開催される予定。

*ISO TC154 の日本事務局は NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)。